

一般質問

主な質問と答弁

まちのコンシエルジュ

地域課題の解決に向けた支援

地域ネットワークにつながる取り組みを広げる

脇 礼子

(民主クラブ)

質問 地域包括支援センターなどの設置により高齢者を支えるネットワーク体制の構築が図られてきたが、そこには民生委員・児童委員などのマンパワーが重要である。これらの支援に市長の公約であるまちのコンシエルジュを検討しているとのことだが、今後の方向性について聞きたい。

答弁 本市には、人知れず地域を支え、自分たちの住む町がよい町であると思わせるべく、活動、団体、個人、さまざまな施策を構築する際の地域課題の解決に向けた合意形成や、課題を抱える人などを地域のネットワークにつなげる支援などに広げ、みんなに優しいまちづくりのパートナーとして、構築を進めていく。



介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みを地域づくりに生かす

抱える人などを地域のネットワークにつなげる支援などに広げ、みんなに優しいまちづくりのパートナーとして、構築を進めていく。

健康寿命日本一 数値目標の設定を
桜井 直人
(市民クラブ 藤沢 直人)
本市の健康寿命について、国や神奈川県、県内他市との比較を聞きたい。

ペットボトル等の収集 夏季の毎週化を拡大
武藤 正人
(藤沢市公明党)



混合収集方式での実施により経費の圧縮を図る

山内 幹郎
(日本共産党藤沢市議会議員)

放射線の測定結果 市民への情報提供を

山内 幹郎
(日本共産党藤沢市議会議員)

住民と地域課題等を共有 地域包括ケアシステム 地域づくりの推進につなげる

東木 久代

(藤沢市公明党)

質問 藤沢市地域包括ケアシステムを推進するために、介護予防・日常生活支援総合事業を中心とする取り組みや考え方をいかに高齢者や地域住民と共有でき

答弁 この総合事業の目的は、従来の身体機能の維持、向上を中心とした視点に加え、仲間づくりや社会参加によるセルフケアとコミュニティケアの視点を重視し、高齢者自身が役割を持ちながら健康づくりを行うとともに、住民主体の活動を取り入れることで地域づくりの推進につなげるものである。このことは藤沢市地域包括ケアシステムの考え方と一致するものであり、これを住民に浸透させるためには、住民と協働を進めることが重要であるが、地域の活動を単に社会資源の一つとして捉え、行政から地域にお願いするという形では前進していかない。

高年齢の障がい者対応 相談支援体制を検討
土屋 俊則
(日本共産党藤沢市議会議員)

ポイ捨てごみの回収 学生等と連携を強化
北橋 節男
(市民クラブ 藤沢 直人)

六会地区で実施された「ポイ捨て無くし隊ふじさわ大作戦」

これは、これまで以上に職員が直接地域に出向き、これまで積み重ねてきた取り組みを最大限尊重し、生かすことで、地域課題や地域団体の活動内容等を共有し、意見交換を行いながら、藤沢市地域包括ケアシステムを推進していく。

これは、これまで以上に職員が直接地域に出向き、これまで積み重ねてきた取り組みを最大限尊重し、生かすことで、地域課題や地域団体の活動内容等を共有し、意見交換を行いながら、藤沢市地域包括ケアシステムを推進していく。